



ワンコイン
ブック

凡ぼん
夫ぶ

四
衢
亮



東本願寺出版

凡^{ぼん}

夫^ぶ

四^{よつ}

衢^{つじ}

亮^{あきら}

親鸞聖人の言葉から

「凡夫」^{ほんぶ}について、親鸞聖人^{しんらんしょうにん}は「凡夫」は、すなわち、われらなり。本願力^{ほんがんりき}を信樂^{しんぎょう}するをむねとすべしとなり」（『一念多念文意』）とおっしゃっています。

つまり、凡夫というのは、私たちのことだと言われます。また同時に、凡夫は阿弥陀仏^{あみだぶつ}の本願のはたらきを信じるのが要だと言われるのです。凡夫ということと、本願を信じるということが関係しているとはどういうことなのでしょう。親鸞聖人が言われる「凡夫」ということを確かめてみたいと思います。

凡夫という言葉

「凡夫」という言葉は、辞書による一般的な意味では、「平凡な人」、「普通一般の愚かな人^{おろ}」と書かれています。「凡」には、並という意味があります。並の人、特別なことは何もない、ごくごく標準的などという意味になります。